

## 第23回例会報告(12月12日)

## 【出席報告】

- ・ 会員数 59名 ・ 出席数 35名 ・ 欠席数 24名  
 ・ 当日出席率 65.31% ・ 前々回修正出席率 100% 12回目  
 < 欠席会員 > 天野、青野、濱田、初田、檜垣(俊)、檜垣(巧)、板脇、菅、笠間、川上、松木、宮本、西本、越智(務)、佐々木、渡邊(一)、八木  
 [ 免除会員 ] 原、松本、中川、瀬野、曾我部、宇高、吉田  
 < 11/28欠席補填 > (11/18今治北)越智(務)、(11/26今治南)檜垣(巧)、(11/28新橋)八木、(12/2今治北)原田、(12/10今治南)天野、笠間、川上、久米、光藤、野間、佐伯、竹田

- 会長報告・矢野暢生<sup>のぶお</sup>氏(山善(株)代表取締役)の入会手続きが規定の段階を経て理事会で承認された。異議のある方は7日以内に書面で申し出て下さい。  
 ・ ガバナー事務所よりロータリークレジットカード加入の協力要請があった。申し込まれる方は事務局までご一報願います。  
 ・ 愛媛大学学生国際交流協力事業会から理事1人の選出依頼があり、村上敬朋会員に引き受けて頂いた。  
 幹事報告・新年家族会の案内; 2003年1月23日(木) 18:30~、今治国際ホテル2階ダイヤモンドにて。会費として、会員8,000円、夫人5,000円  
 ・ 回覧物; RI 100周年記念推進用キット、他クラブ週報、他

## 外部卓話

「国境を越えて ~ 青年海外協力隊 現地レポート ~」 滝口伸一氏(元今治RC会員)  
 現在、青年海外協力隊 進路指導カウンセラーをしている。その関係で先日、派遣隊員の現地視察に大嫌いな飛行機でフィリピン、ミンダナオ島、パラオへ行って来た。  
 昭和40年に青年海外協力隊が誕生して以来、今日までに23,000人が海外へ派遣されている(県内からは323人)。最初に行ったマニラの中心街は東京に負けないような高層ビル群があり、とにかく人と車が多い。しかし、一歩中心を離れると貧しい街並みだ。フィリピン大学でコンピュータ指導にあたっている派遣生に会った。現地によくとけ込んで活躍していた。次に、先日来テロがよく発生しているミンダナオ島へ行った。ここは住民の8割がイスラム教徒だ。貝の養殖を指導している隊員を訪問し、隊員OBがやっている孤児院も視察した。「この院へ来るまではある家で犬と一緒に飼われていた」という子供の話を聞いてぞっとした。最後にパラオへ。ここは日本に友好的な人口19,000人の小さな国だ。ここでは小学校で教鞭をとっている隊員に会った。また、80歳の老女が日本語で語る話が特に印象に残った。「日本人はパラオへ来て仕事の指導をしてくれた。米国はパラオにお金をくれて自立せよと言った」と。米国の援助は2009年に切れる。戦時中の日本統治時代の善政が感じられた。

- < ゲ ス ト > 滝口伸一氏  
 < 来訪ロータリアン > 今治南RC; 越智瑞晃氏

## 次回例会(12月19日)

- [ 年次総会 ] 2004-05年度会長・2003-04年度理事 選挙  
 [ 会員卓話 ] 濱田世志夫氏 「雷の話あれこれ」

- < 会員誕生日 > 渡邊 一志氏(12/19) 檜垣 俊二氏(12/20)  
 < 夫人誕生日 > 久米 操氏(12/22) 近藤 憲司氏(12/23)  
 < 入会記念日 > 村上 修三氏(12/25)

[ 献立 ; 健寿司 ]